

図1. AIDをした事実を子供に知らせるべきだと思うか

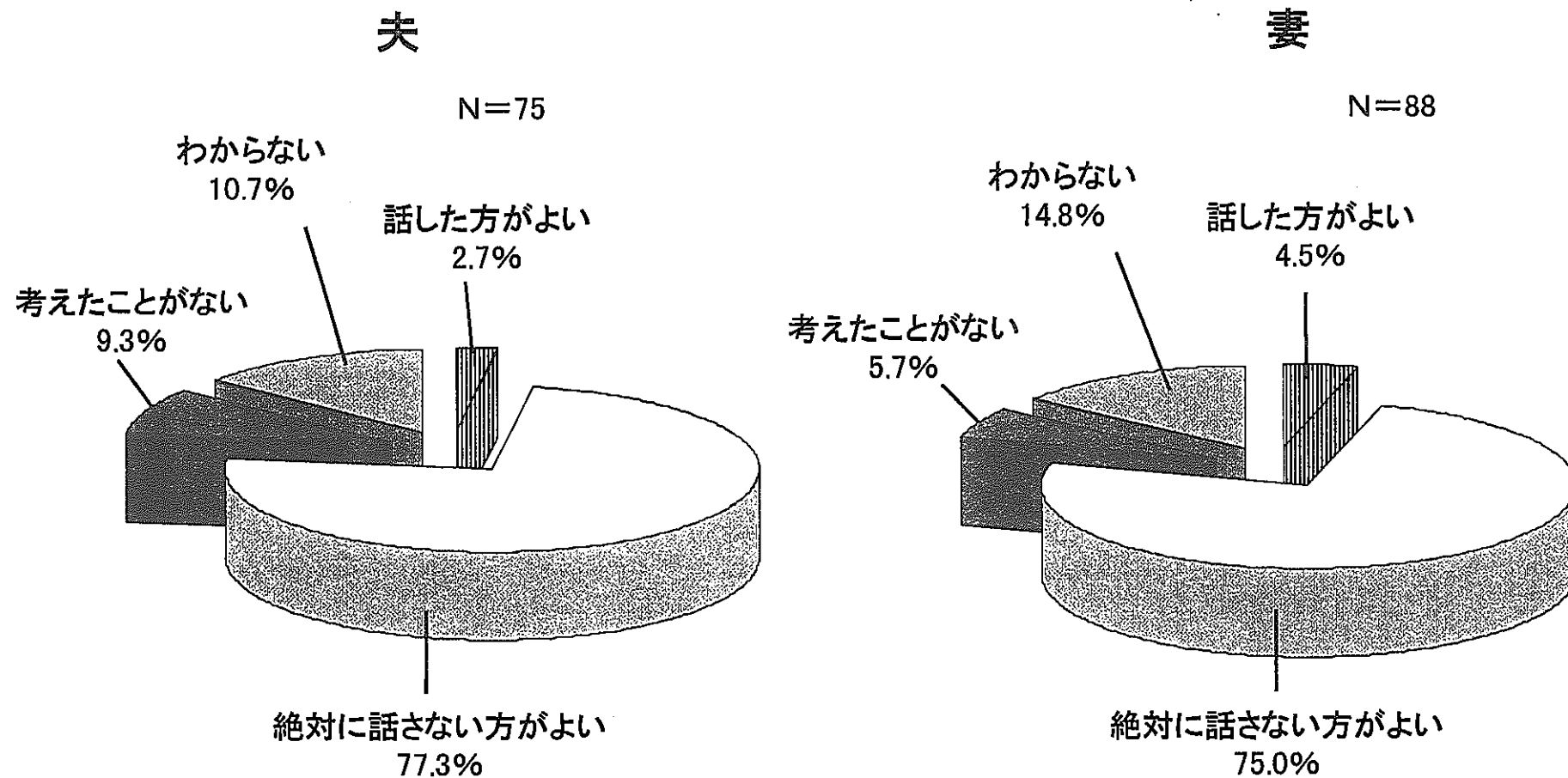


図3. 将来、子供にAIDの事実を伝えようと思っているか

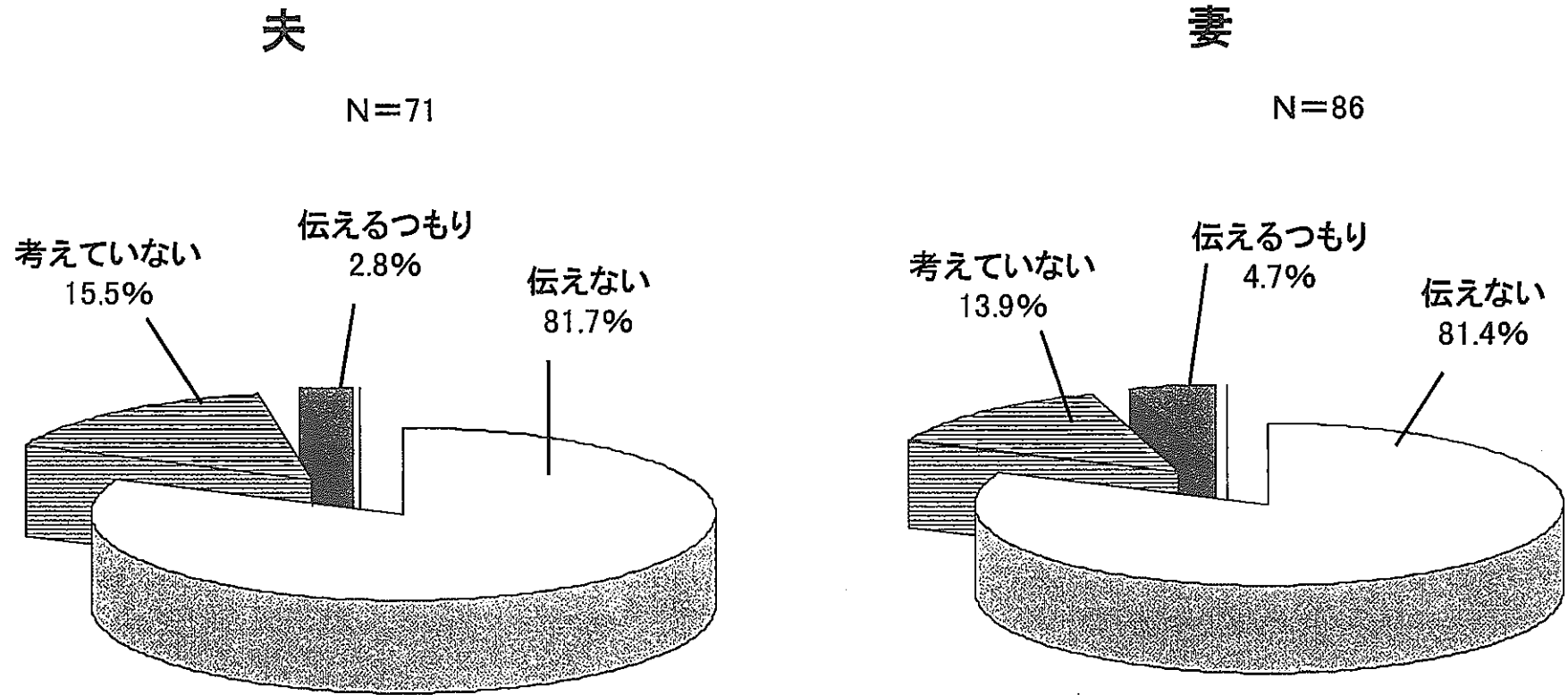
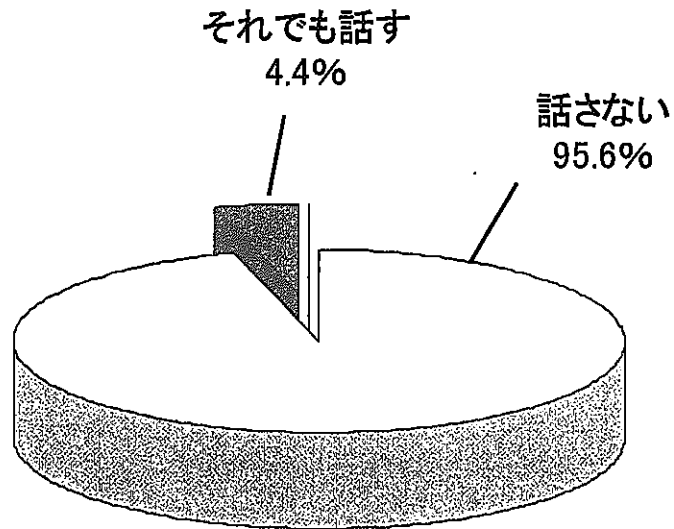


図4. 精子提供者を探すことができるとしたら、
子供にAIDの事実を話すか

夫

N=68



妻

N=79

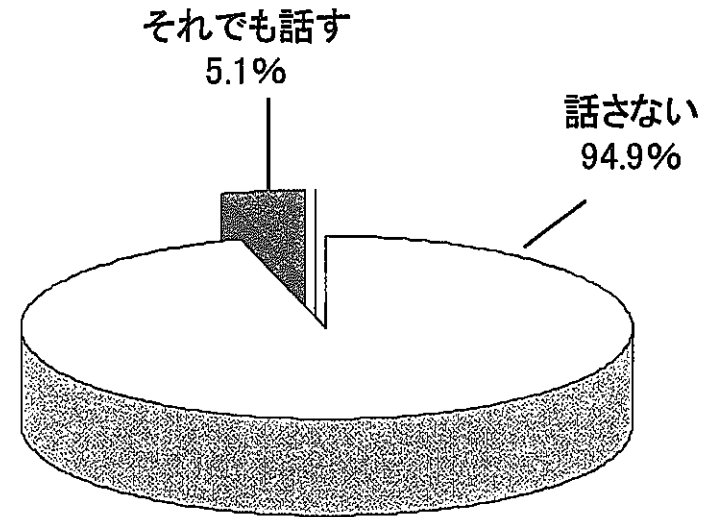
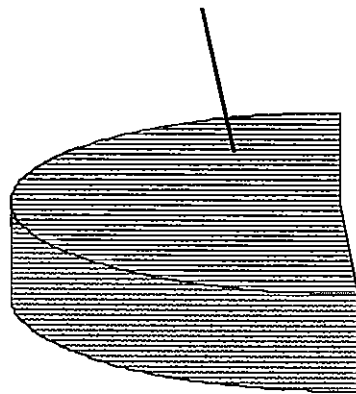


図5. 子供が将来偶然AIDの事実を知って、
精子提供者を捜したいといったらどうするか

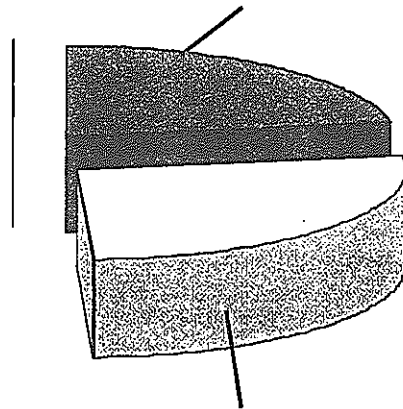
夫

N=71

捜してほしくないと言う
50.7%



会えるよう協力する
22.5%

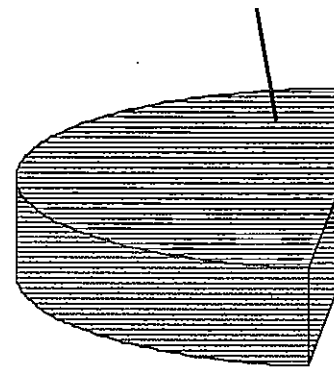


協力はしないが、本人にまかせる
26.8%

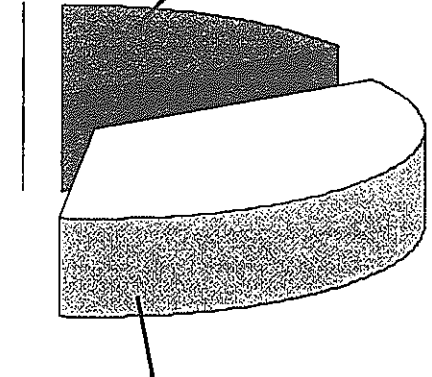
妻

N=83

捜してほしくないと言う
48.2%



会えるよう協力する
15.7%

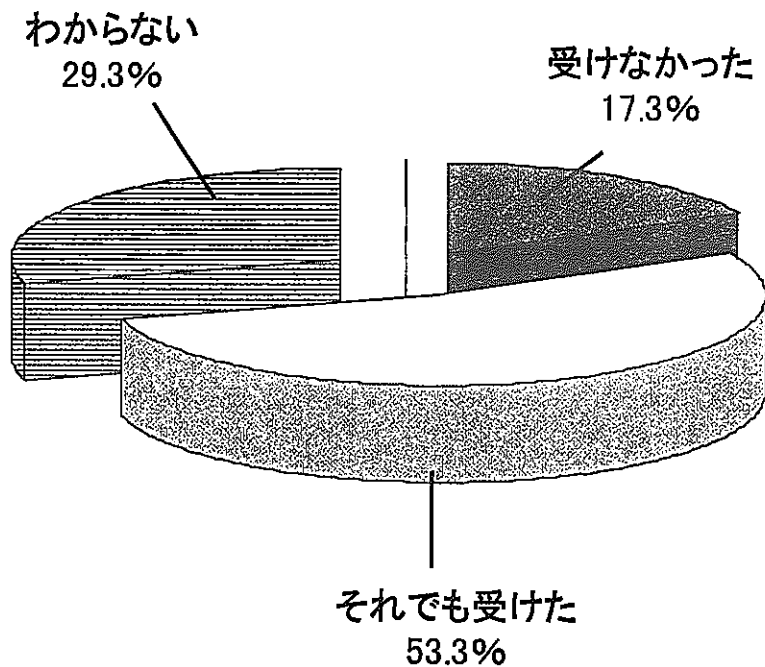


協力はしないが、本人にまかせる
36.1%

図6. 子供にAIDをしたことをいつか知らせなければならぬとしたら、
AIDを受けなかったか

夫

N=75



妻

N=87

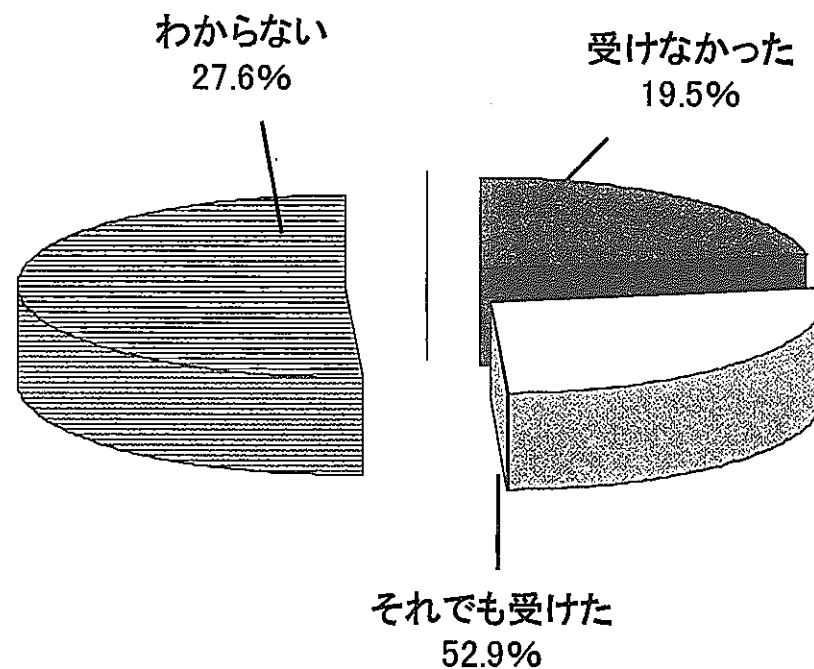


図7. AIDを受けてよかったと思っているか

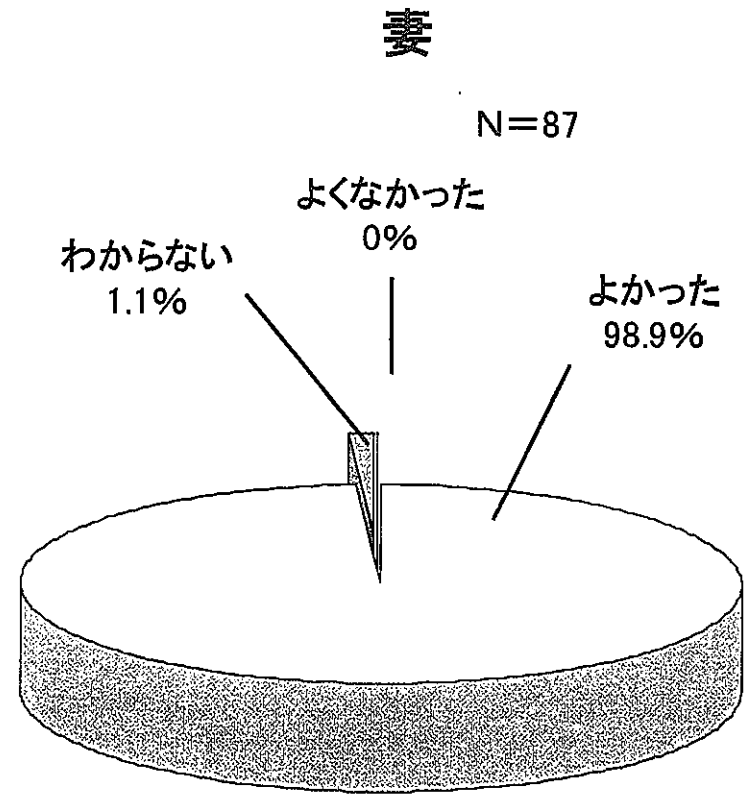
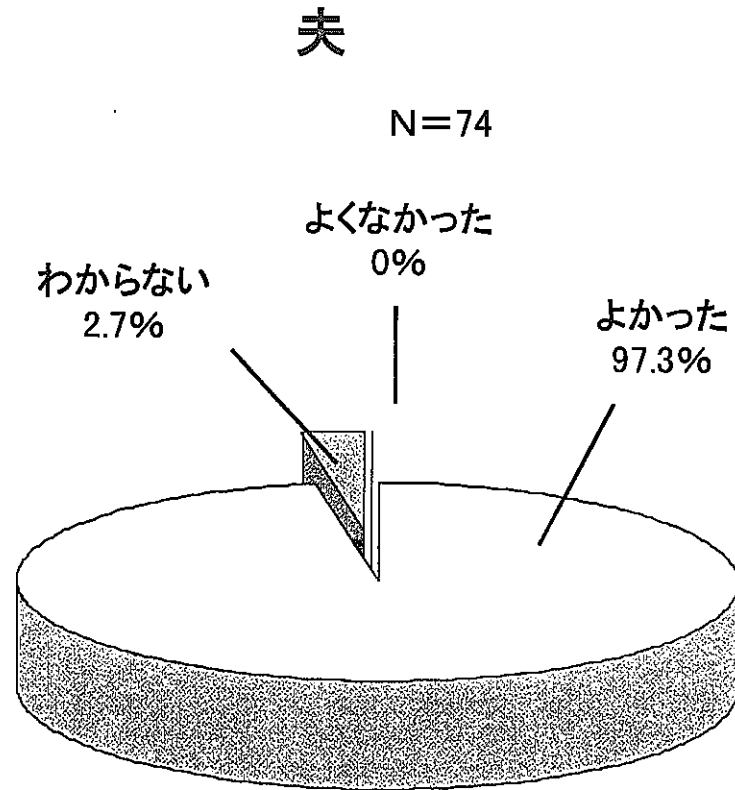


図8. AID治療という医療技術をどう思うか

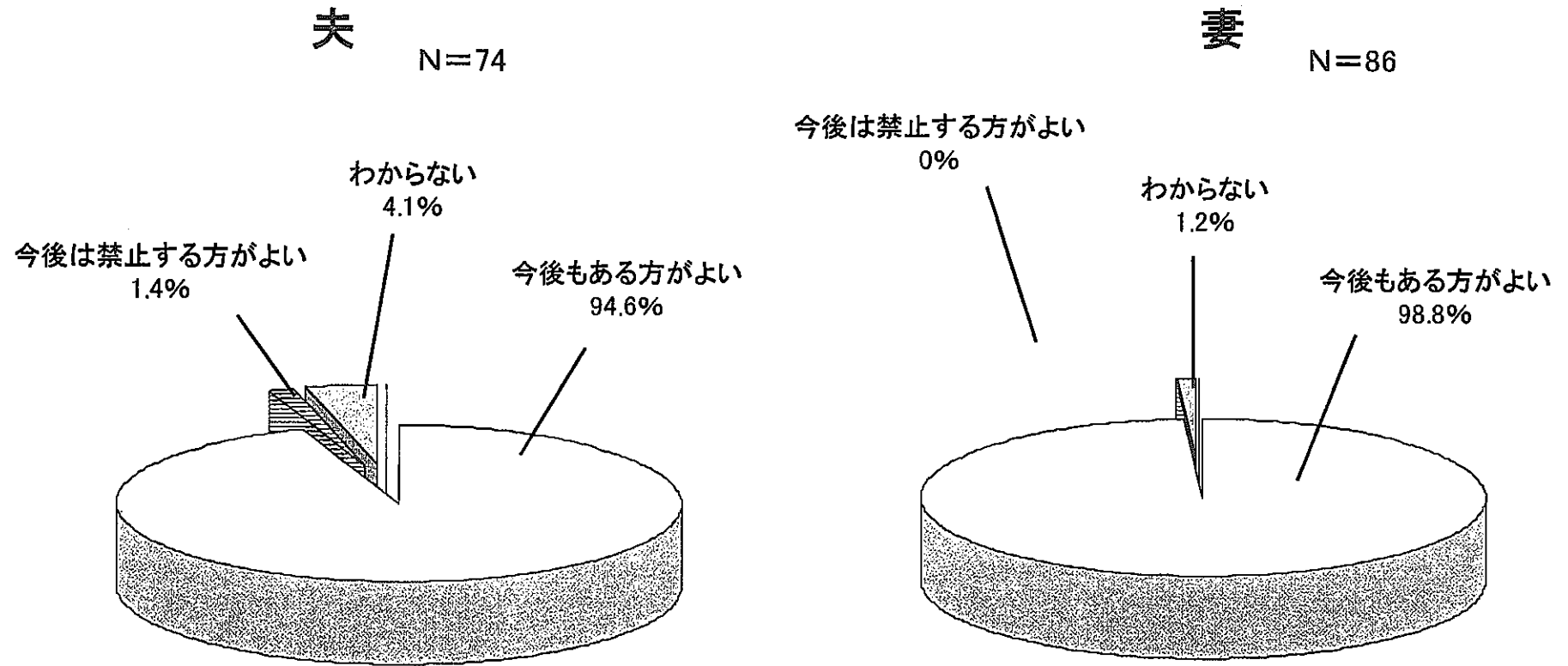


図2. 話さない方がよいとする理由

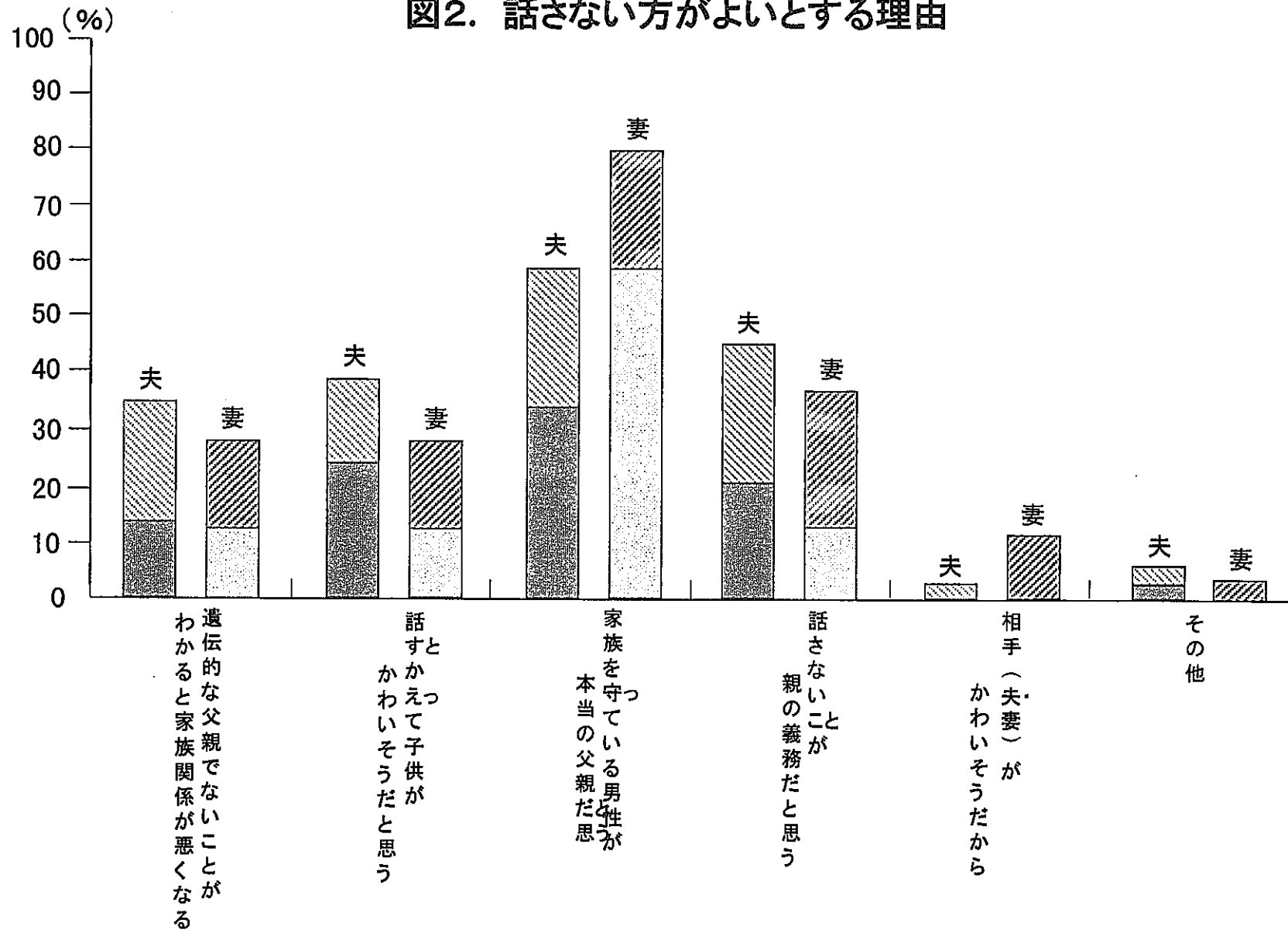


表1. アンケート回収率

| | |
|-------------|-------------|
| アンケート送付 | 292組の夫婦 |
| 宛先不明 | 43通 |
| 返信あり | 159通(63.9%) |
| アンケートに協力する | 114通(71.7%) |
| アンケートに協力できず | 45通(28.3%) |
| 回答あり | |
| 夫 | 76通(66.7%) |
| 妻 | 86通(78.9%) |
